

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	分倍河原駅周辺整備事業			事務事業コード	40590100
概要	分倍河原駅周辺地区において、まちの将来像を実現するため、地域住民や交通事業者を始めとした関係者との協働により、まちづくり基本計画や都市・地域交通戦略に基づく各施策に取り組み、同地区のまちづくりを推進する。				
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当
	施策	59	市内の拠点におけるまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成29年度～	見直しの裁量
根拠法令等	都市計画法、府中市地域まちづくり条例				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市民、駅利用者、鉄道事業者				
事業目標	分倍河原駅周辺地区において、まちづくり基本計画に掲げたまちの将来像である「にぎわいがつながり・ひろがる 歩行者中心の 人に優しいコンパクトなまち」を実現する。				
事業内容	分倍河原駅周辺地区における様々な課題を解決するため、まちづくり基本計画や交通施策をまとめた都市・地域交通戦略に基づき、駅前溜まり空間や東西・南北自由通路の整備、駅舎の改良、まちづくりルールの策定、道路や公園の改良などの施策について、地域住民や鉄道事業者を始めとした関係者との協働により取り組み、まちづくりを推進していく。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 施策の推進に向けた関係者との協議・検討実施回数	8	計画値	9	10	10	10	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	9	11	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	▼まちづくり協議会 4回▼まちづくりルールの中間報告会 1回▼オープンハウス 1回▼都市・地域交通戦略推進協議会 2回▼まちづくり誘導計画に係る打合せ会 3回													
② 都市・地域交通戦略に掲げる12施策の中で、用地交渉または整備に着手する施策数	2	計画値	3	4	9	9	1	2	3	4	5	6	7	8
	施策/累計	実績	3	4	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	都市・地域交通戦略における施策「1-5 生活道路における歩行者環境の充実」「1-7 歩行者空間の確保」「2-1 自転車走行空間の確保・明示」「2-2 自転車駐車場の移転・再配置」													

(※)要因の類型

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	148,241,000	72,066,000	38,235,000	222,586,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	75,000,000	0	5,220,000	4,200,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	37,697,000	65,100,000	17,680,000	192,000,000	0	0
一般財源	35,544,000	6,966,000	15,335,000	26,386,000	0	0
予算現額	81,398,000	64,166,000	46,618,000	0	0	0
決算額	77,388,108	54,969,149	44,925,210	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	38,000,000	0	5,108,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	53,617,300	39,228,500	0	0	0
一般財源	39,388,108	1,351,849	588,710	0	0	0
執行率	95.1%	85.7%	96.4%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	6.00	7.00	7.00			
職員人件費	47,008,842	56,551,775	55,852,937			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	2,095,557	802,685	800,316			
総コスト	126,492,507	112,323,609	101,578,463	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼鉄道事業者と基本協定の締結</li> <li>▼事業用地取得に向けた測量の実施</li> <li>▼市道の改良整備に係る路線測量等の実施</li> <li>▼都市・地域交通戦略協議会の開催 (2回)</li> <li>▼まちづくり協議会の運営支援 (3回)</li> <li>▼地区計画等検討会の運営 (1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼鉄道事業者と基本的事項の合意となる基本協定を締結した。</li> <li>▼事業用地の取得に向けて全範囲の用地測量をおおよそ完了した。</li> <li>▼市道4-139号の路線測量等を実施した。</li> <li>▼まちづくりのルールの検討のため、地区計画等検討会や商店街の地権者を対象にアンケートを実施した。</li> </ul>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼府中市都市・地域交通戦略に基づく、施策の推進</li> <li>▼駅前周辺の整備に向けた基本設計の実施</li> <li>▼市道の改良整備に係る詳細設計等の実施</li> <li>▼地区計画等検討会の運営及びまちづくり協議会の運営支援</li> <li>▼事業周知のためのバーチャルリアリティ (3次元データ) の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼都市・地域交通戦略推進協議会を開催し、施策の推進を図る。</li> <li>▼基本協定を基とし、駅前周辺整備に向けた基本設計を進める。</li> <li>▼事業用地取得に向けて権利者との交渉を進める。</li> <li>▼分倍河原駅周辺のまちづくりを推進するため、まちづくりルールの検討を行う。</li> </ul>

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼駅前周辺の道路認定の実施</li> <li>▼駅前周辺整備に向けた基本設計の実施</li> <li>▼市道の改良整備に係る詳細設計等の実施</li> <li>▼事業用地取得に向けた測量の実施</li> <li>▼都市・地域交通戦略推進協議会の開催 (2回)</li> <li>▼まちづくり協議会の運営支援 (4回)</li> <li>▼まちづくりルールの中間報告会の開催 (1回)</li> <li>▼オープンハウスの開催 (1回)</li> <li>▼事業周知のためのバーチャルリアリティ (3次元データ) の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼駅前周辺整備に向けた道路認定を実施するとともに、基本設計を進め関係者との調整を行った。</li> <li>▼市道4-139号の詳細設計を実施し、拡幅道路の細部の設計を行った。</li> <li>▼用地測量をおおよそ完了させ、用地買収面積を算出する準備を整えた。</li> <li>▼都市・地域交通戦略推進協議会の開催により、施策の進行管理及び評価、見直しの検討を行った。</li> <li>▼バーチャルリアリティを活用し、視覚的にわかりやすい事業説明を図ることで、駅前周辺の整備の考え方について、まちづくり協議会より理解を得た。</li> <li>▼検討中のまちづくり誘導計画について、オープンハウスや中間報告会を開催し、検討経過の周知を図った。</li> </ul>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼府中市都市・地域交通戦略に基づく、施策の推進</li> <li>▼駅前周辺の整備における基本設計の実施及び実施設計に向けた協議</li> <li>▼市道の改良整備に係る詳細設計等の実施</li> <li>▼事業用地取得に向けて、権利者に理解、協力を得られるよう説明を行う</li> <li>▼まちづくり誘導計画に係る地元の意向確認</li> <li>▼まちづくり協議会及びにぎわい検討部会の運営支援</li> <li>▼事業周知のためのバーチャルリアリティ (3次元データ) の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼交通戦略推進協議会を開催し、施策の進行管理及び評価、見直しを行う。</li> <li>▼基本協定に基づく、駅前周辺整備に向けた基本設計を進め、関係者への周知を図る。</li> <li>▼市道の詳細設計を実施し、拡幅道路の細部の設計を行う。</li> <li>▼権利者との調整を行い、事業用地取得が円滑に進むように取り組む。</li> <li>▼まちづくり誘導計画については、内容の検討が進んでいる北西側住宅区域・商店街区域以外の範囲に対して、事業周知の取り組みを行う。</li> <li>▼基本設計の進捗に応じ、まちづくり協議会をはじめとした関係者に対し、バーチャルリアリティ (3次元データ) を用いて分かりやすい事業周知を行う。</li> <li>▼にぎわい検討部会では、他の商店街におけるにぎわい創出の取り組みについて周知するなど、地元のにぎわい創出の検討を促進する支援を行う。</li> </ul>

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	分倍河原駅周辺整備事業は、第7次府中市総合計画において重点プロジェクトに位置付けられている重要な拠点整備事業である。令和4年に鉄道事業者と締結した基本協定により事業の実施段階を迎え、地域住民や交通事業者を始めとした関係者との協働により、駅施設を含む基盤整備を中心としたまちづくりを着実に推進している。令和7年度については、用地買収の段階となっており、今後実施設計に合わせて事業用地取得が円滑に進むよう各権利者とも調整を図り、駅周辺とその他の道路全体で整備に向けた施策を推進していく。
B 現状のまま継続		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</li> <li>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</li> <li>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</li> </ol>		
C 見直して継続	1	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 見直し・縮小</li> <li>2 他事業との整理・統合</li> </ol>		
D 休止・廃止等		

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	05	1059200	都市・地域交通戦略(分倍河原駅周辺地区)推進協議会運営費	186,000	101,970	124,000
2	01	40	15	05	1062550	分倍河原駅周辺整備計画策定費	14,229,000	14,228,500	10,728,000
3	01	40	15	05	1087720	分倍河原駅周辺整備事業費 測量設計委託料	23,820,000	30,594,740	25,246,000
4	01	40	15	05	1087750	分倍河原駅周辺整備事業費 測量設計委託料(債務負担行為解消分)			186,488,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							38,235,000	44,925,210	222,586,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業			事務事業コード	40590300
概要	利用計画に基づく留保地の土地利用及び周辺地域を含めた一体的なまちづくりが図られるよう適切に誘導する。				
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	まちづくり拠点整備推進本部 府中基地跡地留保地整備担当
	施策	59	市内の拠点におけるまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市計画法、東京における自然の保護と回復に関する条例、府中市地域まちづくり条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	地域住民、市民等				
事業目標	にぎわい活力拠点である府中基地跡地留保地が、市民の福祉向上と地域経済発展に寄与するものとなるよう利用計画の実現を図るとともに、周辺地域を含めたまちづくりを推進し、にぎわいと活力・新たな魅力を創出する。				
事業内容	府中基地跡地留保地利用計画に基づくまちづくりの推進 留保地周辺地区のまちづくり体制構築に向けた準備・調整				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 施策の推進に向けた関係者との協議実施回数	4	計画値	4	4	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	6	17	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	▼財務省関東財務局との協議 13回 ▼多摩環境事務所への相談 4回 ●年度当初に国からオオタカの営業等の報告を受けたことにより、土地利用の検討の前提条件が変わったため、定例的な国との協議に加えて、適宜協議等を実施した。													
		計画値					要因の種類(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

(※) 要因の種類

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	0	14,932,000	25,612,000	64,960,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	32,421,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	14,932,000	25,612,000	32,539,000	0	0
予算現額	0	14,932,000	25,612,000	0	0	0
決算額	0	14,883,619	18,743,981	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	14,883,619	18,743,981	0	0	0
執行率	0.0%	99.7%	73.2%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.00	3.00	3.00			
職員人件費	0	24,236,475	23,936,973			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	0	31,552	38,363			
総コスト	0	39,151,646	42,719,317	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容
留保地内に計画する幹線道路について、米軍通信施設跡地の一体利用が可能になったことにより、利用計画よりも、より安全性や円滑性の向上に配慮した道路線形を検討した。また、利用計画の再提出に向け、土地利用のゾーン検討を行った。		見直しの方向性について、土地利用の一部見直しや全部見直し等様々な可能性を含めた検討を開始し、より良い幹線道路の線形の検討や、土地利用の新しいゾーン案を検討することができた。



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
令和4年度で検討した土地利用の新しいゾーン案を基に土地利用の区画割を検討し、利用計画の検討についてオープンハウス等で市民に周知を行う。	留保地の土地利用について検討を進め、その後、市民への周知を行う。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容
留保地は、国の自然環境調査において希少猛禽類であるオオタカの営巣等が判明したことに伴い、希少動植物保護の観点から、国が保全対策を検討することになり、留保地の一部に保全区域を設定する見直しとなった。本市は、国と都の保全対策相談の場に同席するなど、保全対策の検討状況を十分に把握することで、本市の喫緊の課題である総合体育館の移転が可能であることを認識するとともに、土地利用可能エリアを推定し、土地利用についての検討を改めて行った。また、留保地の土地利用が周辺交通に与える影響及び土地利用の実現性を確認するため、警視庁との事前相談を行ったうえで交通量調査および予測を実施した。		B 現状のまま継続 令和5年4月に国からオオタカの営巣等の報告があり、国の保全対策の検討に伴い、留保地の一部に保全区域を設定する見直しとなった。土地利用検討の前提事項が大きく変更することになり、留保地の土地利用を改めて検討することになったが、令和15年新設総合体育館の供用開始に遅れが出ないように作業工程を検討する等、適切に対応することができた。



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
国からオオタカの保全区域を示されるまでは、引き続き、報告されている自然環境調査結果をもとに、本市で保全エリアと土地利用可能エリアを推定し、土地利用可能エリアについてさまざまな土地利用を検討する。国から保全区域を示された後は、示された保全区域を鑑みて利用計画(案)を作成し、その後、市民への周知を行い、利用計画の策定および提出に向けて事業を推進していく。また、国の土地処分を滞りなく実施させるために、基地等跡地対策特別委員会の報告状況に応じて測量・設計業務を実施する。	留保地の土地利用について検討を進め、その後、市民への周知を行い、利用計画の策定に向けて事業を推進していく。また、基地等跡地対策特別委員会の報告状況に応じて、測量・設計業務を実施する。

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性	
A 重点化・拡大して継続	B	土地利用の検討を進め、令和7年度中に利用計画を再策定し、国に提出する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

(単位:円)

## 6 構成事業一覧

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	15	05	1086100	府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり推進事業費	25,612,000	18,743,981	12,248,000
2	01	40	15	05	1086200	府中基地跡地留保地周辺整備事業費 測量設計委託料			52,712,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							25,612,000	18,743,981	64,960,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	けやき並木周辺整備事業				事務事業コード	40600100
概要	けやき並木通りのモール化に向けた周辺道路及びけやき並木通りの整備					
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	都市整備部 道路課	
	施策	60	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	平成2年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	道路法、宮西町地区道路整備計画、国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木保護管理計画					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	道路利用者					
事業目標	けやき並木通りのモール化を進めるため、宮西町地区道路整備計画を推進する。					
事業内容	市道4-10号、4-11号、4-12号及び4-14号の拡幅整備 市道4-488号及び宮西町1丁目1番地先の新設道路の整備					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 道路の完成率	6.6	計画値	6.6	6.6	6.6	6.6	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	6.6	6.6	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	現在は用地交渉を行っている段階であるため、継続して行っていく。													
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	0	5,843,000	0	27,000,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	5,000,000	0	20,000,000	0	0
一般財源	0	843,000	0	7,000,000	0	0
予算現額	0	5,843,000	2,359,000	0	0	0
決算額	0	3,740,000	2,145,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	3,700,000	0	0	0	0
一般財源	0	40,000	2,145,000	0	0	0
執行率	0.0%	64.0%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.68	1.33	1.77			
職員人件費	5,349,282	10,771,767	14,087,046			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	436,819	810,948	1,012,483			
総コスト	5,786,101	15,322,715	17,244,529	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市道4-10号、4-12号、4-14号及び4-488号の用地取得に向けて、権利者に事業の説明を行うなど、交渉を継続した。 市道4-11号は、東側区間の計画道路区域を決定し、用地取得に向けての交渉に着手した。 市道4-12号は、中央区間の計画道路区域を変更した。	計画通り用地取得に向けて交渉を実施し、個々の事情に配慮して権利者へ丁寧に事業説明を行うことなどにより、事業の理解を得ることができた。 市道4-11号は当初目標の計画道路区域の決定に加え、用地取得に向けた交渉に着手したほか、市道4-12号は中央区間の計画道路区域の変更を行うなど、各路線の開通に向けた各種取組を進めることができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
市道4-10号、市道4-11号、市道4-12号、市道4-14号及び市道4-488号の用地取得に向けて交渉を継続する。	引き続き用地取得交渉を進め、計画的に事業を推進する。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市道4-10号、市道4-11号、市道4-12号、市道4-14号及び市道4-488号の用地取得に向けて交渉を継続して実施した。 宮西町1丁目1番地先の新設道路について、権利者との協議が進んだことから、道路認定及び計画道路区域の決定に向けて、測量を実施し線形の検討を行った。	計画通り用地取得に向けて交渉を実施し、個々の事業に配慮して権利者へ丁寧に事業説明を行うことなどにより、事業の理解を得ることができた。 また、権利者との交渉が進んだ宮西町1丁目1番地先の新設道路については、測量を実施し、線形を検討するなど事業化に向けた取り組みを進めることができた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
市道4-10号、市道4-11号、市道4-12号、市道4-14号及び市道4-488号の用地取得に向けて交渉を継続する。 宮西町1丁目1番地先の新設道路の道路認定及び計画道路区域を決定し、用地取得に向けて交渉を実施する。 けやき並木通りの京王線高架下区間の改良整備を行う。	引き続き用地取得交渉を進め、計画的に事業を推進する。 けやき並木通りの京王線高架下区間について、景観や道路機能を維持、改善するため、より適切な形態に整備する。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性					
A 重点化・拡大して継続	B	用地交渉は時間を要するため継続して行っていく。					
B 現状のまま継続							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table>			1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3
1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)						
2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)						
3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)						
C 見直して継続	1						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>他事業との整理・統合</td> </tr> </table>		1	見直し・縮小	2	他事業との整理・統合		
1		見直し・縮小					
2	他事業との整理・統合						
D 休止・廃止等	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>完了</td> </tr> </table>	1	休止	2	廃止	3	完了
1	休止						
2	廃止						
3	完了						



(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	40	10	15	1055700	けやき並木周辺整備事業費 測量設計委託料	0	2,145,000	10,800,000
2	01	40	10	15	1055900	けやき並木周辺整備事業費 建設工事費			16,200,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30						合 計		2,145,000	27,000,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業			事務事業コード	40600200
概要	国天然記念物 馬場大門のケヤキ並木の保護対策事業				
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	60	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	法定事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成11年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法・東京都文化財保護条例・府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	国天然記念物 馬場大門のケヤキ並木				
事業目標	ケヤキ並木が、将来にわたって、いつまでも健全な状態で保護され、府中市のシンボルとしてふさわしい景観を保全する。				
事業内容	保護管理計画に基づくケヤキ並木の保護のため、毎年春・秋2回の樹木医による全樹木の巡回監視を実施し、関係課と連携して速やかに必要な対策を講じる。また、連携協定を結ぶ東京都立農業高等学校を中心とし、地元の府中第一小学校・第一中学校が加わった「小中高連携」による、ケヤキの種拾いや苗木育成など、次世代後継樹の育成に係る「保護更新プロジェクト」等を推進し、市民協働によるケヤキ並木の保護更新とともに、歴史的価値の普及啓発、府中市のシンボルとしてふさわしい景観の保全に努める。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① けやき並木に残す、古木・次世代木の本数	117	計画値	119	121	123	125	1	2	3	4	5	6	7	8
	本	実績	119	118	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	文化財としての文化庁との協議で課題が生じているため。													
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	3,648,000	3,759,000	23,623,000	13,059,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	3,776,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	15,900,000	7,900,000	0	0
一般財源	3,648,000	3,759,000	3,947,000	5,159,000	0	0
予算現額	3,648,000	3,759,000	23,623,000	0	0	0
決算額	3,575,000	3,754,816	23,450,059	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	17,600,000	0	0	0
一般財源	3,575,000	3,754,816	5,850,059	0	0	0
執行率	98.0%	99.9%	99.3%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.40	0.60	0.70			
職員人件費	3,133,923	4,847,295	5,585,294			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	8,821	28,935	32,127			
総コスト	6,717,744	8,631,046	29,067,480	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<p>春と秋の巡回監視を実施し、関係課と連携して、枯れ枝除去や危険枝の剪定等の対策を実施した。また、ケヤキ並木保護と安全確保の両立を図るため、高所診断等の並木の総点検をすべく検討し、次年度以降の対策や計画をまとめた。現状変更手続や今後の植樹のあり方についても、発生した事例から現状と課題点を検討した。</p> <p>連携協定を結ぶ都立農業高校との「保護更新プロジェクト」を推進し、府中第一小学校、府中第一中学校とも連携の輪を広げ、小中高連携による、ケヤキ古木の種拾いや、後継樹育成に係る植樹を行った。</p>	<p>巡回監視を実施し、ケヤキ並木の保護と安全対策の一層の強化とともに、小中高連携による次世代後継樹の育成に係るプロジェクト推進を着実に図ることができた。</p>	

A 重点化・拡大  
  B 現状のまま継続  
  C 見直し  
  D 休止・廃止  
 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<p>引き続き春と秋の巡回監視を実施し、台風や強風に伴う落枝・倒木対策などの安全対策を、関係課と連携して対応する。併せて、経年に伴う保護管理計画の見直し作業を進める。また、小中高連携による「保護更新プロジェクト」を推進し、種拾いや苗木育成、植樹など、次世代後継樹育成に係る取組を継続していくほか、改築に伴う新校舎竣工（第一中学校・第八小学校）に合わせた、同プロジェクトで育成したケヤキ苗木の植樹を行い、市のシンボルである当地ケヤキに係る普及啓発を図る。令和6年度に迎える国指定100周年の記念事業を検討し具体化していく。</p>	<p>定期的な巡回監視を通じ、ケヤキ並木の保護とともに、安全対策も図っていく。併せて、策定から約16年が経過する保護管理計画の見直し作業に取り組む。</p> <p>また、小中高連携による、次世代後継樹の育成に係る「保護更新プロジェクト」を一層推進し、府中市のシンボルとしてふさわしい景観の保全に努める。</p> <p>あわせて、令和6年度に迎える国指定100周年の記念事業を検討し具体化していく。</p>

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<p>春と秋の巡回監視を実施し、関係課と連携して、枯れ枝除去や危険枝の剪定等の対策を実施した。また、高所診断等による対象樹木の総点検を行い、必要な保護管理の実施と今後の保全に必要な問題個所の対処方法を検討した。</p> <p>連携協定を結ぶ都立農業高校との「保護更新プロジェクト」において、ケヤキ並木の落ち葉を利用した堆肥づくりに係るアドバイスをを行った。</p>	<p>巡回監視を実施し、ケヤキ並木の保護と安全対策の一層の強化とともに、次世代後継樹の育成に係るプロジェクト推進を図ることができた。</p>	

A 重点化・拡大  
  B 現状のまま継続  
  C 見直し  
  D 休止・廃止  
 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
<p>▼維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き春と秋の巡回監視を実施し、台風や強風に伴う落枝・倒木対策などの安全対策を、関係課と連携して行う。</li> </ul> <p>▼保護管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護管理計画見直しの検討</li> <li>保護更新プロジェクトの取組</li> </ul> <p>▼国天然物指定100周年記念事業の実施</p>	<p>▼維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な巡回監視を通じ、ケヤキ並木の保護とともに安全対策を図っていく。</li> </ul> <p>▼保護管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防保全の考えを含めた、ケヤキ並木の将来に渡る保護管理の在り方を検討する。</li> <li>学校と連携して次世代後継樹の育成に係る「保護更新プロジェクト」を推進し、府中市のシンボルとしてふさわしい景観の保全に努める。</li> </ul> <p>▼国天然物指定記念100周年事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けやき並木を守り育て、次世代に確実に引き継いでいくに当たっての、制度の創設及びイベントを実施する。</li> </ul>

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性																
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）</td> </tr> </table> <p>C 見直して継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>他事業との整理・統合</td> </tr> </table> <p>D 休止・廃止等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>完了</td> </tr> </table>	1	大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	2	見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）	3	現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）	1	見直し・縮小	2	他事業との整理・統合	1	休止	2	廃止	3	完了	A
1	大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）																
2	見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）																
3	現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）																
1	見直し・縮小																
2	他事業との整理・統合																
1	休止																
2	廃止																
3	完了																
<p>「国天然記念物 馬場大門のケヤキ並木」は、国内唯一の国指定のケヤキ並木で、府中市民のみならず国民にとっても貴重な文化財である。東京の市街地にあるケヤキ並木を将来にわたって保護していくため、計画を見直すとともに、関係各課や土地所有者、沿道の住民、学校、事業者とが協働して取り組んでいく。</p>																	

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1528100	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業費	23,623,000	23,450,059	13,059,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							23,623,000	23,450,059	13,059,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	けやき並木通り車両交通規制事業				事務事業コード	40600300
概要	けやき並木の歩行者専用道路化に付随する試験的な車両交通規制の実施					
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課	
	施策	60	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成22年度～	見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない
根拠法令等	なし					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民及び府中駅周辺の買い物客等					
事業目標	けやき並木通り車両交通規制の実施により、安全な歩行空間が確保され快適な空間となることで、多くの人が集い、憩いの場となることを目標とする。					
事業内容	内容：車両交通規制に伴う警備（車両進入を防ぐ） 日時：日曜、祝日の正午～18時 場所：けやき並木通り（国際通り入口～大國魂神社前信号） 市指定の地点に警備員を配置					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														
		計画値					要因の類型(※)							
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容														

- (※)要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	5,106,000	5,106,000	5,181,000	6,127,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,106,000	5,106,000	5,181,000	6,127,000	0	0
予算現額	4,854,000	5,106,000	4,777,000	0	0	0
決算額	4,406,902	4,560,556	4,776,387	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,406,902	4,560,556	4,776,387	0	0	0
執行率	90.8%	89.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	0.56	0.56	0.56			
職員人件費	4,407,079	4,544,339	4,488,182			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	76,975	88,485	59,408			
総コスト	8,890,956	9,193,380	9,323,977	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽けやき並木通りの車両通行規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入口先から大国魂神社前信号までの区間	けやき並木通りの車両通行規制を通常通り実施することができた。委託業者には業務報告書の作成を依頼し、提出してもらうことで現場状況の把握に努めた。また、下半期には交通量調査を実施し、けやき並木通りにおける交通量の把握に努めた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▽けやき並木通りの車両通行規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入口先から大国魂神社前信号までの区間	車両通行規制の周知に努め、けやき並木通りの活用に合わせた有効な車両通行規制を実施する。今後も委託業者との連絡を密に取り、通常の車両通行規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めていく。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽けやき並木通りの車両通行規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入口先から大国魂神社前信号までの区間	けやき並木通りの車両交通規制を通常通り実施することができた。委託業者には業務完了報告書の作成を依頼し、提出してもらうことで現場状況の把握に努めた。	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▽けやき並木通りの車両通行規制の実施 ・規制日時 毎週日曜日及び祝・休日の12時～18時 ・規制区間 けやき並木通りの国際通り入口先から大国魂神社前信号までの区間	車両通行規制の周知に努め、けやき並木通りの活用に合わせた有効な車両通行規制を実施する。今後も委託業者との連絡を密に取り、通常の車両通行規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めていく。

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性	
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	B	市民の安全な歩行空間の確保及びけやき並木の保護、保全を目的に、引き続きけやき並木通りの車両通行規制を適切に実施する。今後も委託業者との連絡を密に取り、通常の車両通行規制やけやき並木通りで開催されるイベント等に支障のないよう努めていく。
C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	1	

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	40	0167500	けやき並木通り車両交通規制事業費	5,181,000	4,776,387	6,127,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,181,000	4,776,387	6,127,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	中心市街地活性化ビジョン推進事業				事務事業コード	40600400
概要	中心市街地活性化事業					
総合計画	基本施策	2	地域特性を生かした都市空間の形成	主担当部課名	生活環境部 産業振興課	
	施策	60	けやき並木と調和したまちづくりの推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	令和4年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	府中駅周辺地区					
事業目標	都市再生推進法人である一般社団法人まちづくり府中を中心として、民間事業者と共にけやき並木やペDESTリアンデッキ等の公共空間を活用したエリアマネジメント等を推進し、中心市街地のにぎわいの創出や商業の活性化を図る。					
事業内容	中心市街地活性化ビジョンの実現にむけて、次の事業を実施する。 ▼にぎわい創出事業(イベント事業等) ▼商業活性化事業(府中駅前商業施設や商店街の連携支援事業、情報発信事業等) ▼回遊性創出事業(中心市街地外の施設とのタイアップ事業等) ▼エリアマネジメント事業(公共空間/公共施設等における市民交流の場創出事業等) ▼調査・研究事業(中心市街地活性化ビジョンフォローアップ調査事業等)					

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の種類(※)								
① けやき並木通りの活用日数 (まちづくり府中主催・共催・後援のイベント等)	39	計画値	39	41	43	45	45	1	2	3	4	5	6	7	8
	日	実績	45	43	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、概ね予定通りのイベントを実施できた。														
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の種類
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	64,657,000	33,006,000	31,935,000	54,352,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	4,100,000	13,500,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	27,000,000	0	1,600,000	0	0	0
一般財源	33,557,000	19,506,000	30,335,000	54,352,000	0	0
予算現額	46,119,000	33,006,000	31,935,000	0	0	0
決算額	32,800,000	31,048,000	29,998,730	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	12,870,000	12,410,000	12,420,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1,600,000	0	0	0
一般財源	19,930,000	18,638,000	15,978,730	0	0	0
執行率	71.1%	94.1%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	2.70	2.90	3.40			
職員人件費	21,153,979	23,428,593	27,128,569			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	575,065	481,367	598,923			
総コスト	54,529,044	54,957,960	57,726,222	0	0	0



5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者交通量調査 (23,071人)、空き店舗調査 (48店舗) 等を行った。</li> <li>・むさし府中まちバル…実施(2回)</li> <li>・各種マルシェ…実施(バンマルシェ1回、キテキテ府中マルシェ2回 (うち1回中止))</li> <li>・競馬場タイアップ…お店めぐりスタンプラリー実施(2回)</li> <li>・おもてなしライトアップ…竹あかりで府中のお正月実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、予定していた事業を概ね実施できたことで、中心市街地のにぎわいの創出に寄与した。</li> <li>・キテキテ府中マルシェを桜まつりと同日開催するなど、他イベントとの連携を意識しながら実施した。</li> <li>・けやき並木、府中スカイナードの活用に係る実証実験を行った。</li> </ul>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木等で各種マルシェやおもてなしライトアップ事業等の実施</li> <li>・まちバル等の府中市内をめぐるイベントの実施</li> <li>・休日の歩行者交通量調査、空き店舗数調査を継続して行う</li> <li>・けやき並木通り、府中スカイナードの活用を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木・府中スカイナードで来街を促す事業を実施し、中心市街地のにぎわいを創出する。</li> <li>・中心市街地内の回遊を促す事業を実施し、回遊性を創出する。</li> </ul>

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キテキテ府中マルシェ 2回実施 (けやき並木9/10, 11/23 府中スカイナード 9/9, 11/23)</li> <li>・おもてなしライトアップ実施 (竹あかりで府中のお正月12/28~2/4) 一節竹製作ワークショップ 1回実施 (12/10)</li> <li>・まちバル 2回実施 (9/8~9/10, 3/3~3/7)</li> <li>・東京競馬場G I レース時でのまち歩きBook配布 (10/29, 11/26, 2/18)</li> <li>・休日の歩行者交通量調査…26,761人、空き店舗調査…37</li> <li>・けやき並木通りの活用日数…43日、府中スカイナードの活用日数…39日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、事業を概ね予定通り実施できたことで、中心市街地のにぎわい創出に寄与した。</li> <li>・アンケートによると、イベント参加者の多くが市内在住者であるため、市外在住者の参加者を増やす施策を検討する。</li> <li>・イベントを行ったことによる効果が見えにくいため、効果の数値化を検討する。</li> </ul>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき並木通りや府中スカイナードを活用したイベントの実施 (2ヶ月に1回、年6回実施)</li> <li>・市内店舗の回遊を促すまちバルの実施</li> <li>・東京競馬場花火大会と連携した事業の実施</li> <li>・スポーツの力を活用したにぎわい創出事業の実施</li> <li>・府中市中心市街地活性化ビジョンの指標となっている休日の歩行者交通量及び空き店舗数の調査の継続実施</li> <li>・GPSの位置情報を活用した、イベントの効果検証を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「府中に行けばイベントが行われている」との認識を広め、市外からの来街者を増加させることを目的とし、けやき並木通りや府中スカイナードで行うイベントを定例化する。</li> <li>・中心市街地内の回遊性を創出する事業を実施する。</li> <li>・事業の効果を最大化するため、他イベントとの同時開催や連携を検討する。</li> <li>・人流分析を行い、イベントによる効果の数値化を行う。</li> </ul>

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性											
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <table border="1"> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">A</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table> <p>C 見直して継続</p> <table border="1"> <tr> <td>1 見直し・縮小</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">B</td> </tr> <tr> <td>2 他事業との整理・統合</td> </tr> </table> <p>D 休止・廃止等</p> <table border="1"> <tr> <td>1 休止</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">C</td> </tr> <tr> <td>2 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 完了</td> </tr> </table>	1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	A	2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1 見直し・縮小	B	2 他事業との整理・統合	1 休止	C	2 廃止	3 完了	<p>府中市中心市街地活性化ビジョンに基づき、中心市街地の活性化をより一層推進していく必要がある。令和7年度では、人流分析を行った結果を基に、イベントの実施方法や内容について検討を行いつつ、「府中に行けばイベントが行われている」との認識を更に広げることで市外からの来街者を増加させることを目的に、にぎわいに寄与するイベントの定例化を図る。これにより、中心市街地のエリアマネジメントを推進する株式会社まちづくり府中とともに、更なるにぎわい創出に取り組んでいく。</p>
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	A											
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)												
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)												
1 見直し・縮小	B											
2 他事業との整理・統合												
1 休止	C											
2 廃止												
3 完了												

(単位:円)

6 構成事業一覧

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	35	05	05	0934500	まちづくり会社出資金	2,000,000	2,000,000	
2	01	35	05	05	0934700	中心市街地にぎわい創出事業費	26,785,000	24,849,000	54,342,000
3	01	35	05	05	0934800	負担金 まちづくり府中	10,000	10,000	10,000
4	01	40	15	05	1058010	中心市街地活性化ビジョン推進事業費	3,140,000	3,139,730	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							31,935,000	29,998,730	54,352,000